

海陽だより

荒尾海陽中学校

第13号(R7.11.25)

「挑戦！さらに一步前進」

文責：校長 右田尚久

まるで季節が一気に入れ替わるように冬の寒さがやってきました。例年、防寒着の提案は、12月からするのですが、本年度は急激な冷え込みから10日あまり前倒しして昨日、生徒たちにはお知らせしました。自転車で登校する生徒の中には手袋をしてくる姿も見られるようになりました。寒くなると、布団から起きるのもおっくうになり、登校してくる時刻も遅れがちになります。基本的生活習慣が乱れないよう気をつけたいものです。

今年、登校してくるのもあと一ヶ月。これまでの学習や活動を振り返り、一人ひとりの成長を確かめる大切な時期です。また、学校行事やまとめの学習など、一年間を振り返る月でもあります。寒さが増す中ではありますが、体調管理に気をつけながら、今年を締めくくりましょう。



♪すばらしいハーモニー♪

令和7年度玉名荒尾中学校音楽会が11月5日に行われ、荒尾海陽中学校は3年3組が学校代表として出場しました。みんな凛とした表情で堂々と練習した歌が荒尾文化センター大ホールに響きました。15校中15番目で、「群青」と「いのちの歌」を歌い上げ、最後の締めくくりとしてふさ



わしいハーモニーを聞くことができました。指揮者の塚本君、切通君、ピアノ伴奏の松岡さんも立派でした。私は数日間、この歌声が耳から離れず無意識のうちに口ずさむほど印象深い合唱でした。3年3組のみなさん感動をありがとうございました。

～朝からのさわやかな挨拶と音楽の音色～

生徒たちの朝からのさわやかな挨拶が「今日も一日頑張ろう」という気持にさせてくれます。最近は、生徒たちの方から挨拶をしてくれる人が多くなっています。一步一歩前進しているのを感じます。地域の方からも「生徒たちがとてもあいさつが素晴らしいです。」とお褒めの言葉もいただきました。



そのような中、先日7時40分頃から音楽の音色が聞こえてきて、音のなる方へと導かれていったところ、平日しか練習していない吹奏楽部の演奏があっていました。平日は海陽中学校の吹奏楽部としての練習、休日は地域展開クラブになり、違うメンバーでの練習と移行期の狭間で大変なのですが、今回は平日の吹奏楽部活動としての演奏でした。登校してくる生徒たちも足を止めて聞き入っていました。12月のクリスマスソングも聞きたいな。

荒尾市教育フォーラム



11月15日（土）午後から荒尾文化センターにて「荒尾市教育フォーラム」が行われました。1部では、「SNSを正しく使うためにはどうしたらよいか」というテーマで市内の小中学校から代表2名ずつ26名が小グループを作り、授業形式で行われました。荒尾海陽中学校からも北野君と渡辺さんが代表として参加しました。積極的な意見交換ができ、北野君の堂々とした班代表発表も聞くことができました。

第2部は万田小学校があらおベーシックの授業の様子を動画で発表してくれました。生き生きとした学び合う姿を見るることができました。来年度の新入生も楽しみです。

第3部は、シンガポールとの国際交流報告の発表がありました。本校からも3名の生徒がノ一原稿で堂々と経験した異文化交流の様子を発表してくれました。どの人も、自信にあふれた発表でした。お疲れさまでした。

このように、休日もいろんなところで荒尾海陽中生は活躍しています。

そこで、第1部の内容について少し紹介します。SNSの使い方については、いろいろな課題があげられます。そこで、SNSを安全に利用するためには「表現力」と「コミュニケーション力」、「想像力」が身に付けなければならない。

「表現力」とは、ライン等でのやり取りで、自分の思いが相手に正しく伝わるようになると一文付け加える。良書をじっくり読む。その繰り返しによってネットでの「表現力」が高くなる。

「コミュニケーション力」は、「あなたにとって大切な人とは誰ですか。家族？友達？先生？」その大切な人とたくさん会話をし、会話の大切さを知るとともに、約束や決まり、約束を守ることでコミュニケーション力を高められる。

「想像力」は、豊かな体験を重ね想像力の基となる力をつける。例えば「この表現で自分の思いが正確に伝わるか。」「この写真でイヤな気持になる人はいないか。」「この動画で傷つく人はいないか。」想像して立ち止まって見る力をする。

この3つの力が備わるようみなさんも努力しましょう。

令和7年度「図工・美術展」県特選入賞者

令和7年度の玉名荒尾「図工・美術展」の審査があり、荒尾海陽中学校から106点の入賞作品が選ばれました。その中でも『県特選』に入賞者の作品は、県立美術館分館にて1月27日から2月1日まで展示されます。**入賞おめでとうございます！！**